

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	ゆうき図書館		
	係名	企画管理係・サービス係		
	記入者		電話(内線)	34-0150

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	ゆうき図書館運営管理事業		(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ			(6) 事業主体			市
① 事業の区分	主要事業	(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質	一般事業費(ソフト事業)	
② 施策コード	42202	(総合計画掲載ページ)	120	会計区分	一般会計	
基本目標(政策)	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)			財源区分	市単独	
基本施策	4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・青少年の健全育成)			予算科目	款 10	項 5 目 5
施策	②地域教育体制の充実			予算書上の 事業名称	ゆうき図書館運営管理経費	
施策内容	2図書館サービス網の充実				(予算書 174 ページに掲載)	
(5) 事業期間	開始	平成 16 年 5 月から	(8) 事務分類			自治事務
	終了	年 月まで (力年)	根拠法令	図書館法		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象（だれに対して・何に対して行うのか）	(3) めざす姿（意図・どのような状態になるのか）
結城市民及び図書館利用者	市民の教養・知識が向上し、文化的な潤いのある生活ができるようになる。
(2) 手段（事業内容・どのようなことを行うのか）	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
・図書資料・視聴覚資料・逐次刊行物の収集・整備 ・資料提供（資料の閲覧提供・資料の貸し出し） ・情報提供（ホームページによる利用案内、検索サービス等） ・地域支援（子育て支援、ビジネス支援等の情報収集・提供） ・生涯学習支援及び推進（職業体験学習、図書館見学会、ボランティア支援） ・読書活動推進（たのしい図書館ツアー、図書館探検ツアー、子ども司書養成講座等） ・レファレンスサービス・利用者支援（対面朗読室の利活用推進等） ・ブックスタート事業（5ヶ月児健診時に、ボランティアが絵本の読み聞かせを行い、絵本とコットンバックをプレゼントする。）	市民の要望や図書館法並びに結城市図書館基本計画書により設置された。
(5) 事業をとりまく環境の変化（社会環境、市民ニーズ等）や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
公共図書館に指定管理者制度を導入する自治体もあるなかで、行政改革を推進するという観点から、本市においても図書館の今後の管理運営方法の1つとして指定管理者制度の導入について検討を行っていく。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		31 年度	
（１）事務事業費	事業費	報酬	12,850	13,029							
		賃金	8,580	9,007							
		需用費	2,587	4,684							
		役務費	1,374	1,404							
		委託料	8,856	12,420							
		使用料及び賃借料	15,336	11,766							
		その他	996	1,067							
		合計	50,579	53,377							
	財源	国庫支出金（千円）									
県支出金（千円）											
地方債（千円）											
その他特定財源（千円）											
一般財源（千円）		50,579	53,377								
合計（千円）		50,579	53,377								
補助・起債制度名											

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称				単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	たのしいとしょかんツアー参加者数	目標値	人		120	130	140	150	
		実績(見込)値		166	100				
	子ども司書養成講座参加者数	目標値	人		25	28	31	34	
		実績(見込)値		22	20				
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	貸出者数	目標値	人		68,600	70,400	72,200	74,000	
		実績(見込)値		66,799	68,000				
		達成率		90.3 %	91.9 %				
	利用登録者数	目標値	人		33,500	35,000	36,500	38,000	
		実績(見込)値		31,551	33,000				
		達成率		83.0 %	86.8 %				
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。 「平成27年5月に開館記念イベントを開催」「平成27年9月に読書履歴プリントシステムを導入」「平成28年2月に山川文化会館及び江川出張所にある図書コーナーの蔵書入替」を行うなど、図書館に足を運んでもらうための様々な試みを行った。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価					理由				
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	図書館は地域の教育的・文化的基盤であり、必要である。					
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	指定管理者制度の導入を検討する必要があるため。					
	手段の妥当性	B	どちらとも言えない	実施主体の見直しに伴い、手段についても検討する必要がある。					
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	職員に代わり、多くの嘱託・臨時職員を雇用しており、人件費の改善の余地はない。					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	利用者に制限を設けておらず、偏りは見られない。					
有効性	成果の向上	A	上がっている	貸出冊数及び児童の新規登録者数が対前年比で大幅な増加が見られた。					
進捗度	事業の進捗	A	順調である	地域の教育的・文化的基盤として機能している。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。 ソフト面については、概ね順調に運営出来ていると思うが、ハード面において、図書館が開館して10年以上が経過したことにより、自動化書庫の故障が頻繁に発生するなど、設備の経年劣化による様々な問題が浮き彫りになってきている。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？ 「新規イベントの企画」「ゆきき図書館のPR」等を積極的に進め、今よりも魅力的な公共図書館を生み出していくのと、年次計画で設備の修繕を行っていく。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			地域の「知識」、「文化」、「情報」、「交流」のセンターとしての機能を果たしていくために、蔵書の充実やレファレンスの強化を図るとともに、さまざまな企画やイベントを開催し、より多くの皆さんに図書館に興味を持ってもらい、来館してもらう。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				